

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの在り方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成する。	入居者様の意向やご家族の希望をもとにして、職員の気づきや意見を反映し介護計画を作成する。	ご自身の意志を十分に訴えることができない方に関しては、家族の意向を話し合ったうえ介護計画を作成して、又ご本人の日々の様子を言動や行動などを観察し、想いを把握し職員同士で検討したうえ計画作成に活かす。	6ヶ月
2	3	思いや意向の把握 一人一人の思いや暮らし方の希望、意向の把握に努める。困難な場合は本人本位に検討している。	生活は本人のペースに合わせ、日々の関わり合いの中からご本人の想いを把握し、希望に寄り添い、それが困難な場合は表情や行動の観察をしながら本人本位の意向に沿えるように努めている。	生活はご本人のペースに合わせて日々支援を行なっている。食事介助の際は、ご本人の表情を見ながら各自の能力に合わせて楽しく美味しくなるよう支援を行なっている。職員は、ご本人の想いを理解できるよう情報をできる限り共有し、ご本人の想いが維持及びスタッフ周知ができるよう日々のケアに努めている。	6ヶ月
3	6	身体拘束をしないケアの実践を。 職員や管理者といった利用者にかかわる者全員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を理解し、拘束をしないケアに努めている。	外部講師や内部研修を行ない、職員全員で知識を共有し理解を深めるよう努めている。	身体拘束は行っていない。緊急時においてはその都度職員で話し合っていて、なるべく本人の意志や家族の意見を尊重するようにしている。	12ヶ月
4	35	緊急時等の対応 緊急時の対応がスムーズに行えるか、どうか が課題。	利用者さんが安全に安心して過ごせるように取り組む。	・緊急時にスムーズに対応できるように職員間での連携を図る。 ・各職員がスキルアップに努める。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。